

# 第59期 定時株主総会

2023年6月20日

JBCCホールディングス株式会社

- 決算概要および中期経営計画進捗状況
- 注力事業の取組み
- 2024年3月期業績予想
- 人財への投資

# 会社概要

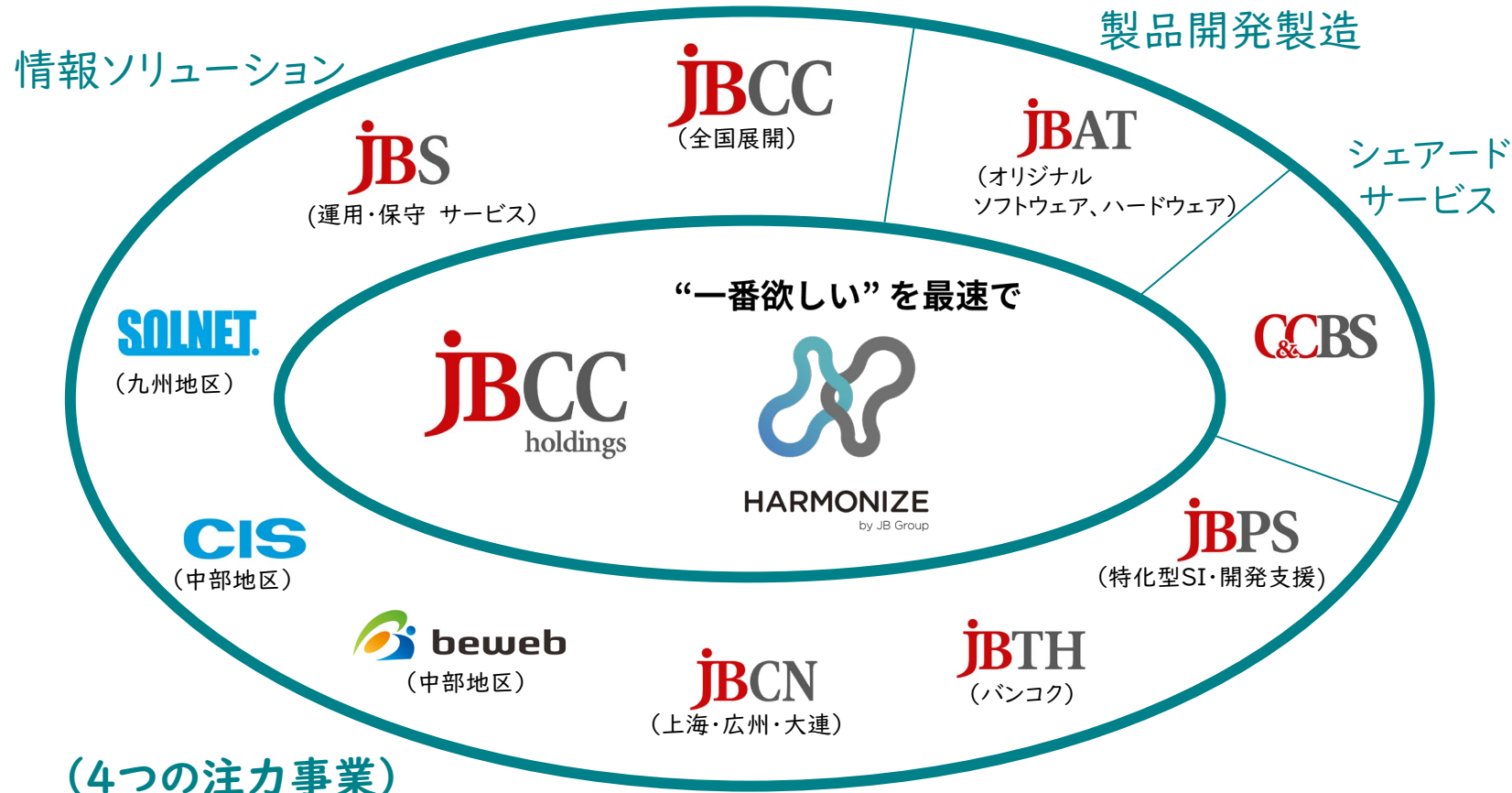
HARMONIZE  
by JB Group

社名 : JBCCホールディングス株式会社  
[プライム市場 情報・通信業 9889]  
設立 : 1964年4月1日  
資本金 : 47億13百万円  
社員数 : 1,993名 [有期社員を含む連結ベース]  
事業会社: 10社  
(国内 50拠点、海外 4拠点)



首都圏オフィスを統合し、  
2023年2月より、  
東京ミッドタウン八重洲  
へ本社を移転

## お客様のDXを実現するITサービス企業グループ



### (4つの注力事業)

超高速開発

クラウド

セキュリティ

クラウドデータ連携

※2023年4月1日現在

## 事業構造変革が進み、継続成長路線を確立

売上高 対前年比+4.0%

## 注力事業の成長により、過去最高の営業利益達成

営業利益 対前年比 +22.1%

## 中期経営計画の目標値前倒し達成

中期経営計画目標値を見直し、好調な業績に合わせて期末配当を上方修正

## 事業構造変革の結果、売上、営業利益ともに対前年比増

(百万円)

	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	前年比	2023年3月期 業績予想 ※2022年10月31日修正	予想に対する 進捗率
売上高	55,934	<b>58,144</b>	<b>+4.0%</b>	56,500	102.9%
営業利益	3,083	<b>3,764</b>	<b>+22.1%</b>	3,600	104.6%
経常利益	3,227	3,847	+19.2%	3,700	104.0%
当期純利益 (親会社株主に帰属する当期純利益)	2,245	2,679	+19.3%	2,550	105.1%

# 主な経営指標

	2022年3月期	2023年3月期
売上高総利益率	30.4%	31.0%
売上高営業利益率	5.5%	6.5%
ROE	12.6%	14.1%
1株当たり当期純利益（円）	140.26	170.55
フリーキャッシュフロー（百万円）	3,494	-54

※フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

# 事業分野別の状況

注力事業の成長により、SI・サービス共に売上・利益が着実に伸長

(百万円)

事業ドメイン (各ドメイン内に含む注力事業)	売上		売上総利益		売上総利益率	
		対前年比		対前年比		対前年比
情報ソリューション	56,140	+4.1%	16,717	+ 5.8%	29.8%	+0.5pt
SI (超高速開発)	<b>16,666</b>	<b>+13.9%</b>	<b>5,755</b>	<b>+14.2%</b>	34.5%	+0.1pt
サービス (クラウド、セキュリティ)	<b>27,648</b>	<b>+6.3%</b>	<b>8,392</b>	<b>+4.4%</b>	30.4%	-0.5pt
システム	11,825	-11.0%	2,569	-5.5%	21.7%	+1.2pt
製品開発製造 (クラウドデータ連携)	2,004	-0.5%	1,294	<b>+7.4%</b>	64.6%	+4.8pt
合計	58,144	+4.0	18,011	+5.9%	31.0%	+0.6pt

# 中期経営計画「HARMONIZE 2023」注力事業 進捗状況

## 4つ注力事業が引き続き順調に成長

## クラウド、セキュリティの新規受注を着実に積み上げ、成長基盤の確立

(百万円)

		2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 目標
超高速開発	SI全体に占める超高速開発比率 ※1	54.7%	60.1%	70%
	売上高	5,839	<b>7,325</b>	
	対前年比	+ 45.4%	<b>+ 25.4%</b>	
	受注高	6,292	8,227	
	対前年比	+ 71.2%	<b>+30.7%</b>	
クラウド ※2	売上高	3,169	<b>4,905</b>	CAGR 46%
	対前年比	+ 51.9%	<b>+ 54.8%</b>	
	新規の月額受注高累計	132	167	
	対前年比	+ 67.2%	<b>+ 26.7%</b>	
セキュリティ ※2	売上高	2,701	<b>3,875</b>	CAGR 42%
	対前年比	+ 38.5%	<b>+ 43.4%</b>	
	新規の月額受注高累計	90	130	
	対前年比	+ 79.3%	<b>+ 45.1%</b>	
クラウドデータ連携	累計契約本数	706	<b>2,321</b>	10,000 本
	対前年比	+ 553.7%	<b>+ 228.8%</b>	

※1 「SI全体に占める超高速開発比率」は、システム開発に付随する運用保守や調達を除く売上高のうち、超高速開発による割合を示します。

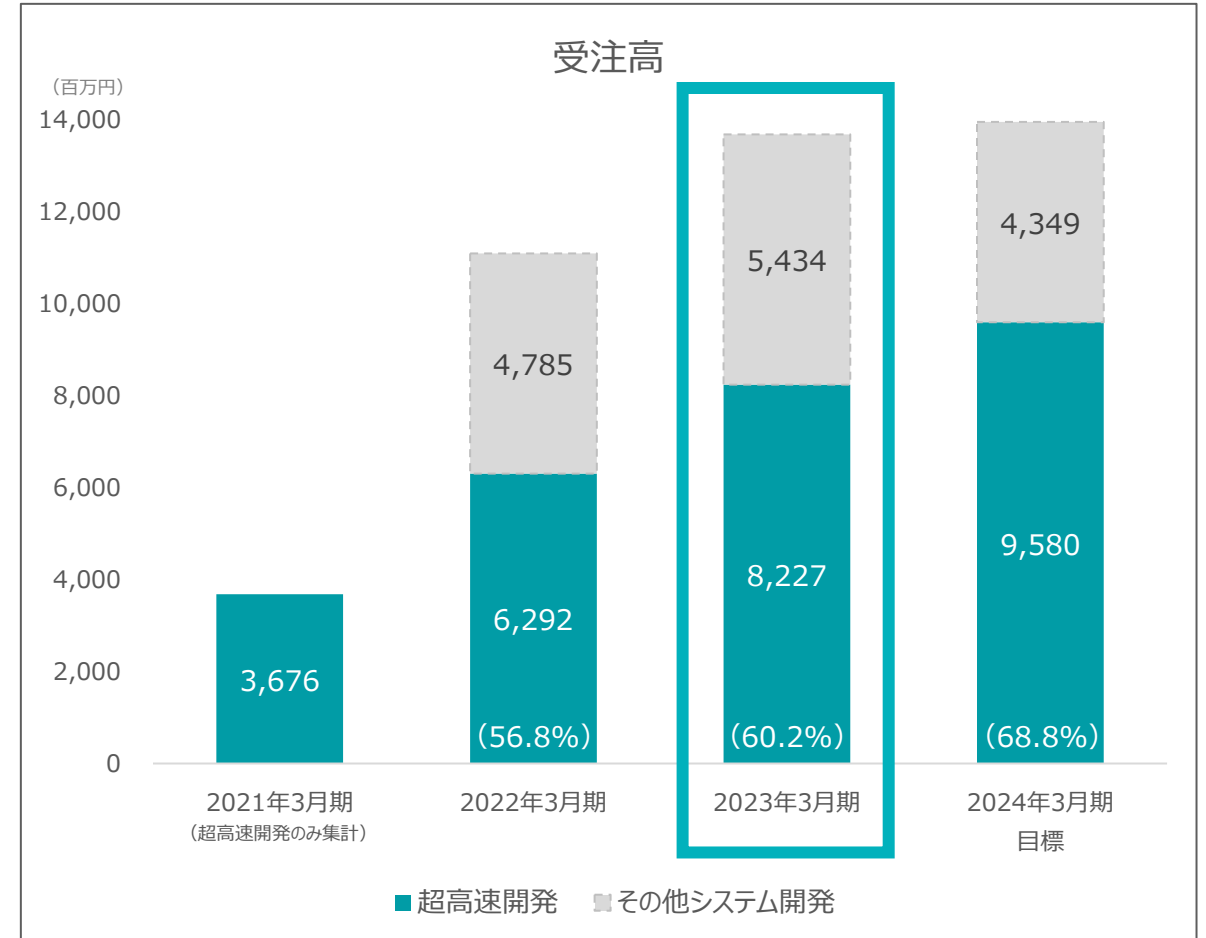
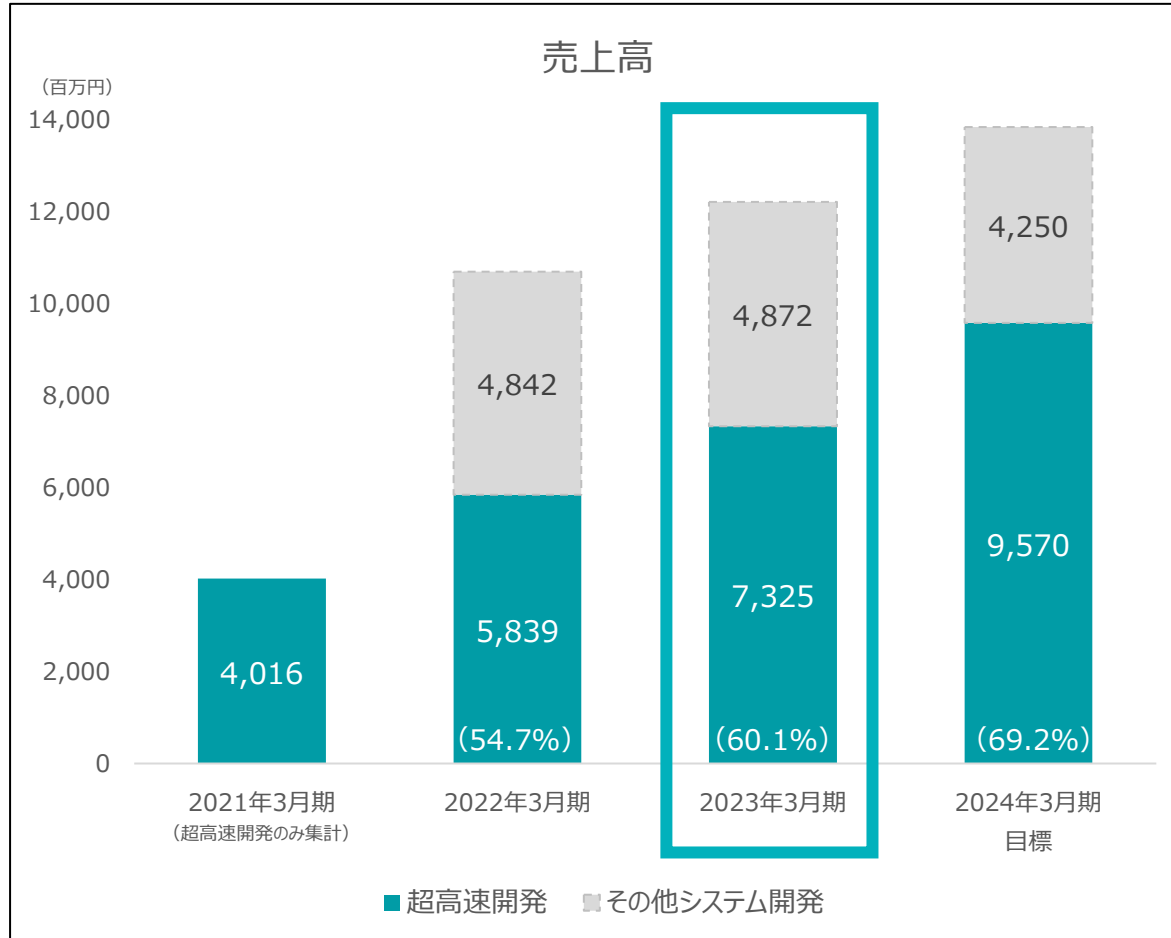
※2 クラウド及びセキュリティはストックビジネスです。



# 注力事業の進捗

超高速開発

企業のDX需要を背景に、迅速・柔軟に提供できる「超高速開発」の受注が加速、大型案件を含むプロジェクトが順調に推移



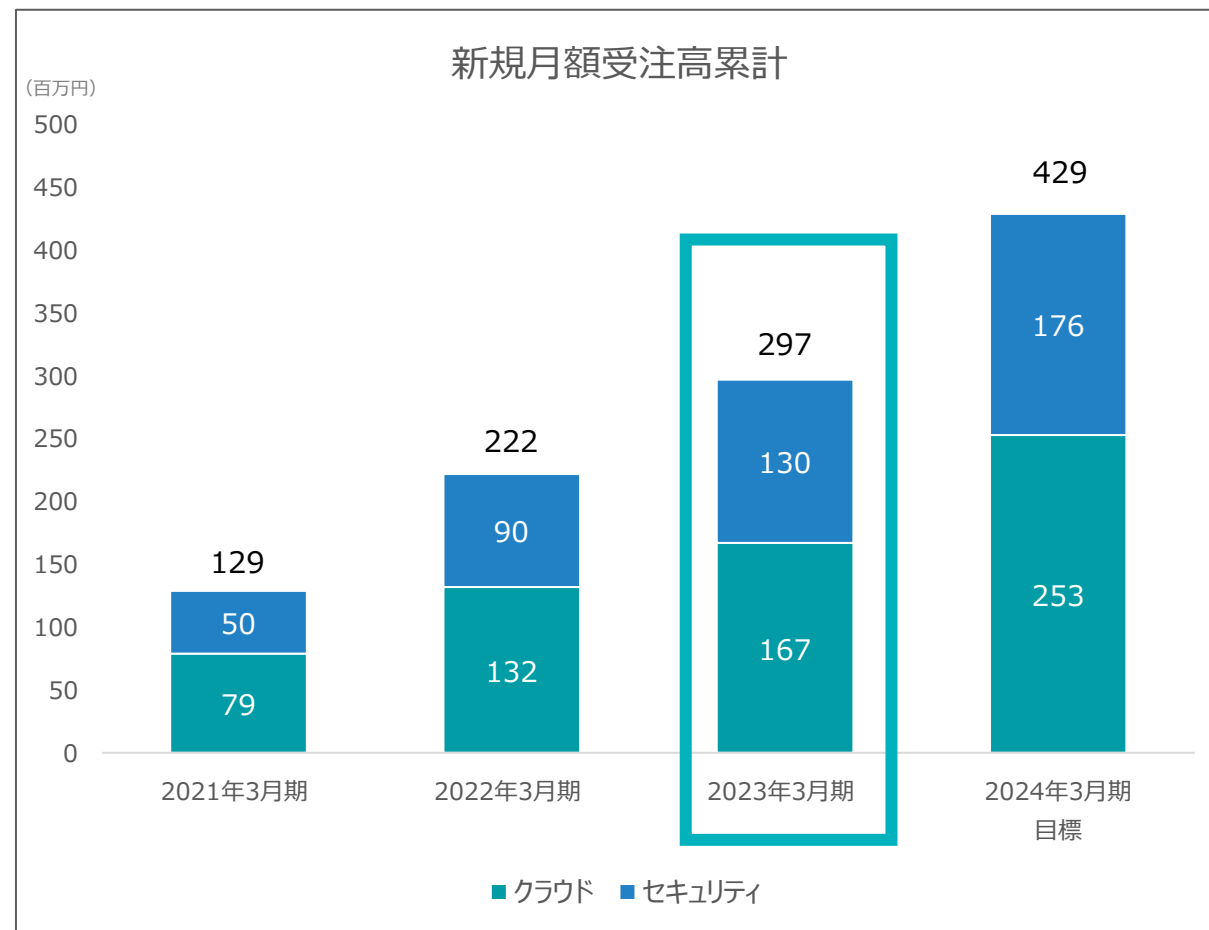
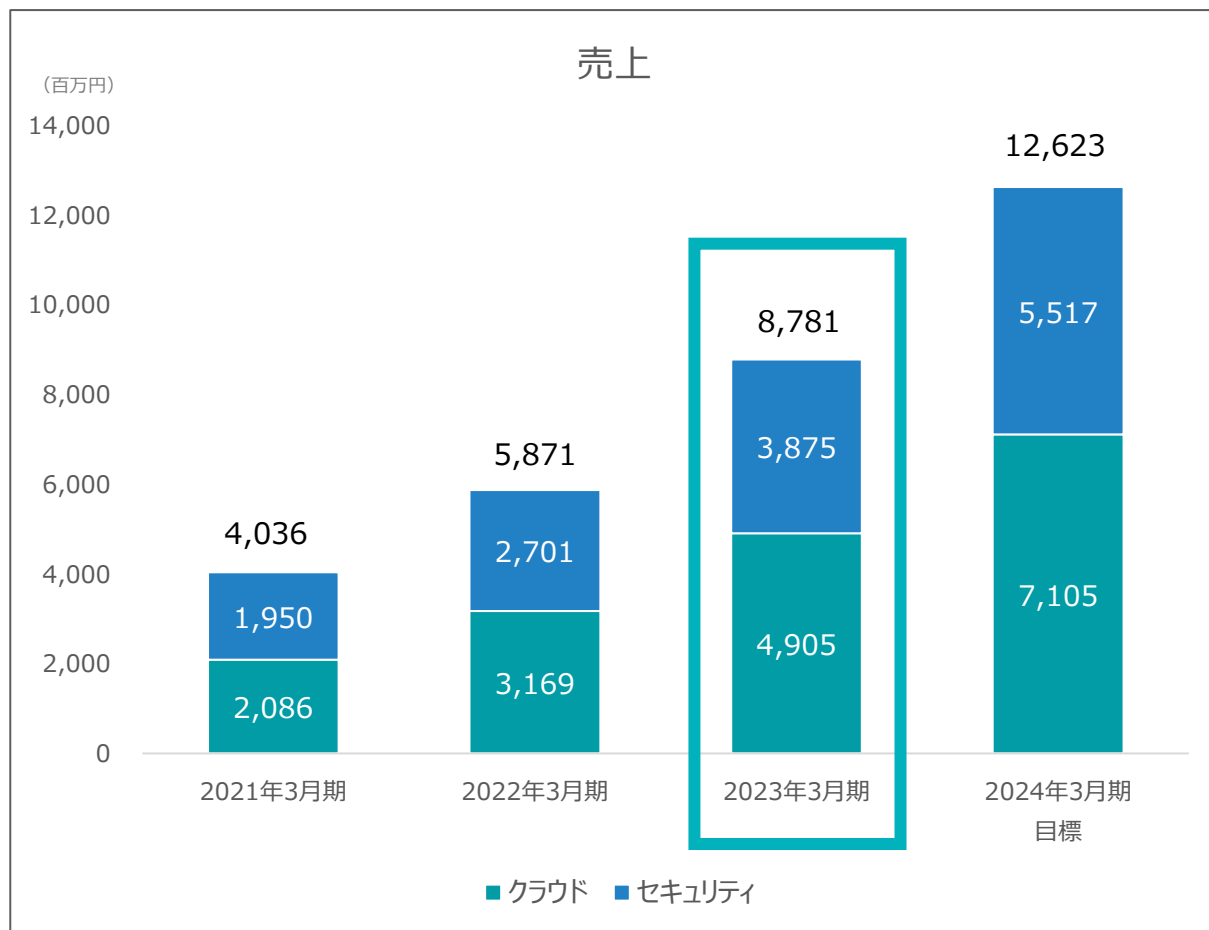
※ ( ) は超高速開発比率を示す

# 注力事業の進捗

クラウド・セキュリティ(ストックビジネス)

HARMONIZE  
by JB Group

働き方の多様化やセキュリティ需要増加を背景に、クラウド・セキュリティ共に成長(売上高対前年比 +49.6%)  
ストックビジネスが伸長し事業構造変革が加速



## クラウド

### マイクロソフト・アワード IaaS/SaaS ダブル受賞

- ITモダナイゼーションクリニックで  
平均30%のコスト削減  
クリニック実施の90%以上のお客様がご契約
- M365ワークショップで  
利活用提案&導入定着支援  
70%以上のお客様が他社から当社に契約移管

IaaSは2年連続受賞  
(2021、2022)



## セキュリティ

セキュリティ業界 グローバルリーダー

### パロアルトネットワークス アワード 2年連続受賞

- エンドポイントセキュリティ成長率200%超  
新規獲得社数の多さを評価
- 新たなマネージドサービス提供  
NDR、Attack Surface

2年連続アジアNo.1  
(2021、2022)



## お客様の”一番欲しい”を最速に提供

### 超高速開発

- 超高速開発実績 **460社**
- ローコード/ノーコード**市場シェア 8.9%**
- **対パッケージ**製品との優位性、**アセットのマイクロサービス化** 学習塾・鉄鋼業・建材卸・食品製造

### セキュリティ

- 網羅的な見える化/診断サービス **770社**
- 中堅大手向け **マルチクラウドセキュリティ**
- **業界トップクラス**の高度エンジニアによる運用サービス、**インシデント対応**

### クラウド

- マルチクラウド統合提案 **2,000社**
- 3大クラウド対応 **独自サービス強化**  
Microsoft Azure/Google Cloud/AWS 運用・コスト最適化
- クラウド利活用推進 **ユーザーコミュニティ**
- ビジネス課題を解決する**データ活用提案**

### クラウドデータ連携 Qanat Universe

- SaaS連携強化 **115サービス**  
奉行クラウド、楽楽精算、kintone等
- 電帳法対応 導入加速 **累計2,321本**
- **高付加価値**ソリューション:IoT、電子錠  
都内ビル13オフィスに対応

# 2024年3月期業績予想

(中期経営計画 HARMONIZE 2023 最終年度)

HARMONIZE  
by JB Group

中期経営計画「HARMONIZE 2023」目標値を1年前倒して達成、目標値を見直し最終年度へ引き続き「HARMONIZE」に注力することで事業構造変革を推し進める

	2023年3月期 実績	HARMONIZE 2023 目標値			対前年比
		変更前※	変更後 2024年3月期 業績予想	増減率	
売上高	58,144	57,500	<b><u>59,000</u></b>	2.6%	+1.5%
営業利益	3,764	3,600	<b><u>4,000</u></b>	<b>11.1%</b>	+6.2%
経常利益	3,847	3,700	<b><u>4,100</u></b>	<b>10.8%</b>	+6.6%
当期純利益 (親会社株主に帰属する当期純利益)	2,679	2,550	<b><u>2,850</u></b>	<b>11.8%</b>	+6.4%

※2022年5月12日変更

# 株主還元について

好調な業績に合わせて2023年3月期期末配当を上方修正、2024年3月期も増配や自己株式取得による株主還元を予定

	2023年3月期		2024年3月期 (予想)
	修正前※	修正後	
中間配当	31円	31円	<b>40円</b>
期末配当	37円	<b>41円</b>	<b>40円</b>
配当性向	39.9%	<b>42.2%</b>	<b>44.2%</b>
自己株式取得額	-	-	<b>1,000百万円</b>
総還元性向	-	-	<b>79.3%</b>

※2022年10月31日修正

(参考) 2023年5月10日付開示 自己株式取得に係る決定事項の概要

- ・取得対象株式の種類 : 当社普通株式
- ・取得し得る株式の総数 : 400,000株(上限)  
(自己株式を除く発行済株式総数に対する割合 2.5%)
- ・株式の取得金額の総額 : 1,000百万円(上限)
- ・取得方法 : 東京証券取引所における市場買付
- ・取得期間 : 2023年8月21日から2024年2月29まで

業界をリードする働き方、給与水準を実現。独自の価値を高め、さらなる企業成長へ

## 柔軟な働き方の実現、成果主義の導入

- 時間、場所、年齢、組織を問わない人事制度「Style J」
  - ・テレワーク/オフィスワークの実践・定着
  - ・シニア活躍（匠：60歳以上/極：70歳以上）：管理職11名
  - ・社内複業<sup>\*1</sup>「イノベース」AI活用サービス事業化：AI基盤検査
- 成果を評価、業界トップクラスの給与水準

昇給率 2023年度	上位50%平均:6.12%、全社平均:4.01% (連合平均3.69%)
年収	40歳平均年収 ※JBCC、上位50% 2022年度 1,050万円(業界平均860万円 <sup>*2</sup> )
賞与	日経ボーナスランキング ※JBCC 2022年度 夏3位、冬3位

\*1 通常「副業」と記載しますが、「正」「副」の区別なく「複」数の働き方を実現することを意図し、「複業」と記載しています。

\*2 厚生労働省 令和5年度賃金構造基本統計調査 情報通信業40歳～45歳の平均年収。

## 包括的な人財への投資

- 採りたい人財への採用強化
  - ・当社事業・働き方への理解促進
  - ・八重洲オフィス活用、長期・目的別インターンシップ等
- 多様性、人財育成・活用検討の活性化
  - ・人財部会への社員参画  
(経営層/事業責任者/女性役員・管理者/社員等)
  - ・HARMONIZE成長領域へのスキルシフト・育成  
(データ活用/AI、高度セキュリティスキル等)
- 誰もが挑戦できる企業風土の醸成
  - ・社内外複業の推進
  - ・事業、ITを活かした社会活動へ：AI、データ活用等

## J B C Cホールディングス株式会社 経営企画 [e-mail : ir@jbcc.co.jp]

### 資料についてのご注意

- 本資料は、当社の業績及び事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の動向や業績等に関する見通しは、リスクと不確定な要素を含んだ予測であり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、様々な要因により見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。